

◆ **今週のコメント** (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(50歳代男性)(第41週追加報告分)ありました。症状は腸炎, 菌血症, 敗血症です。本年の累積報告数は32例となりました。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が2例(70歳代男性及び70歳代女性)(第41週追加報告分)ありました。症状は発熱, 咳, 菌血症等で, 感染経路は飛沫・飛沫核です。本年の累積報告数は60例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が3例(40歳代男性, 70歳代男性及び20歳代女性)(第41週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内で, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は57例となりました。

梅毒は早期には薬物治療で完治できますが, 検査や治療が遅れたり, 治療せずに放置すると, 脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。感染予防のために, 性行為時にはコンドーム等を適切に使用しましょう。また, 性器や口腔周囲に異変を感じたら, 性行為を控え, 速やかに医療機関に相談し, 早期発見・早期治療することが重要です。

梅毒の感染経路や治療, 予防等に関しては, 下記ホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゆーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何？」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/29-1.pdf>

- ・ **百日咳**の報告が2例(10歳未満男性及び40歳代男性)(第41週追加報告分)ありました。症状は持続する咳, 夜間の咳き込みです。本年の累積報告数は93例となりました。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は, 0.33(23例)となり, 前週の0.52(36例)から減少しました。今のところ流行と言える状況ではありません。全国では0.72で, 流行入りの目安とされている1を超えている道県もありますが, 全国的な流行とはなっていません。

◆ **今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>**

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の本年累積報告数は60例となりました。本疾患は2013年4月1日から全数把握対象疾患(五類感染症)となって以降, 報告患者数は増加傾向にあります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ **発生状況**

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 2例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 251例(肺結核 109例, その他結核61例, 潜在性結核感染者 81例)うち喀痰塗抹陽性 53例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 32例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 60例】
- ・ 五類: 梅毒 3例【1月以降の累積報告数 57例】
- ・ 五類: 百日咳 2例【1月以降の累積報告数 93例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.33	23
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.33	100
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	44
	③ 手足口病	0.93	40
	④ RSウイルス感染症	0.91	39
	⑤ 伝染性紅斑	0.47	20
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

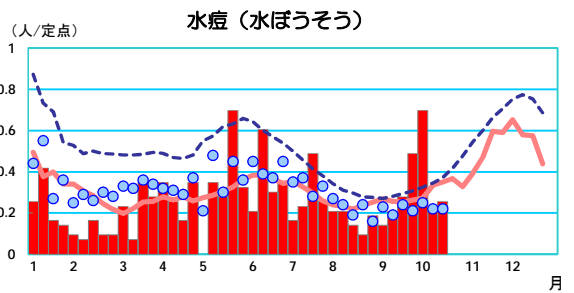
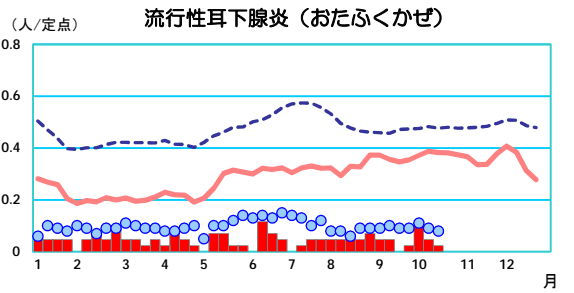
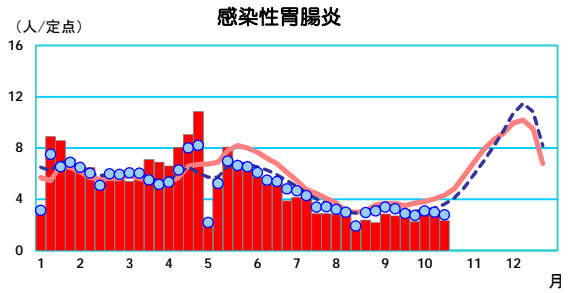
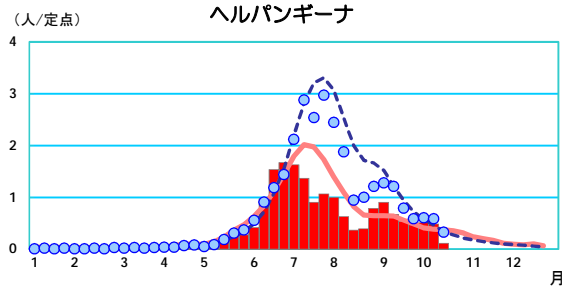
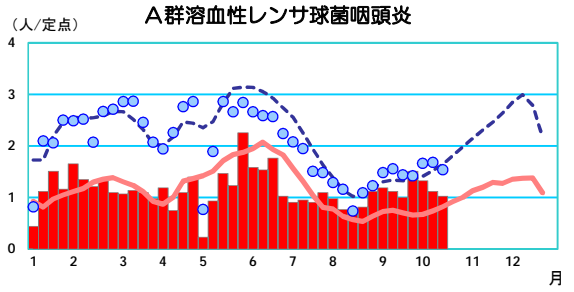
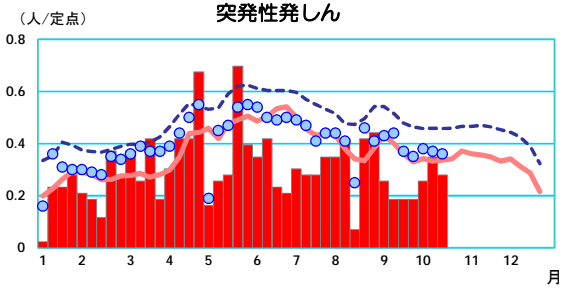
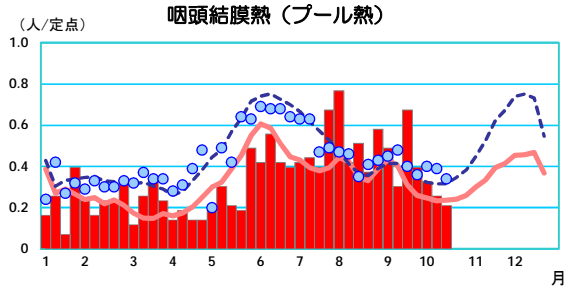
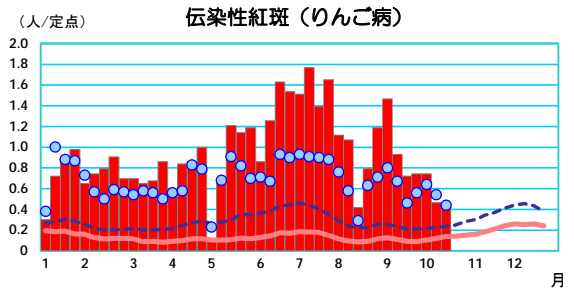
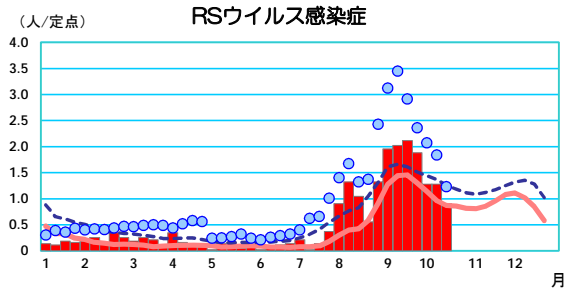
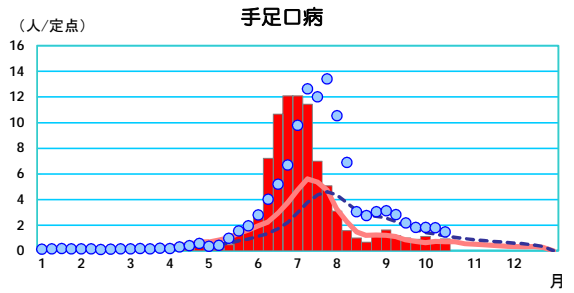
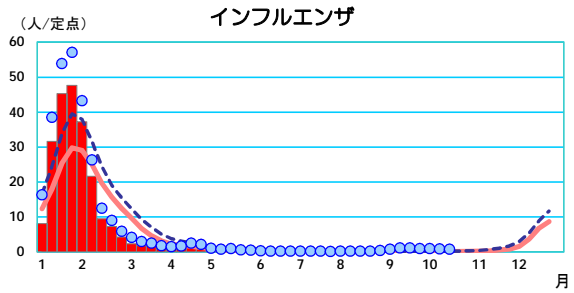
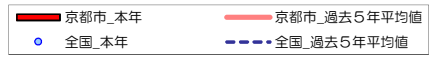
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2019年10月23日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第42週(10月14日～10月20日)トピックス＜侵襲性肺炎球菌感染症＞

京都市及び全国の発生動向

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の報告数は第42週に2例(ともに前週の追加報告分)あり、本年の累積報告数は60例となりました。本疾患は2013年4月1日から全数把握対象疾患(五類感染症)となって以降、報告患者数は増加傾向にあります。京都市の本年の報告数を調査開始以来の同時期と比較すると、過去報告数の高かった2016年、2018年に並ぶ状況を示しており(図1)、今後の発生動向に注意が必要です。

症状

本疾患の潜伏期間は不明で、症状は小児と成人で異なります。小児の場合、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした菌血症(*)が多く見られます。成人の場合は、発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

(*)菌血症:本来、無菌であるはずの血液中に細菌が存在する状態です。

予防

侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチン接種が有効とされています。京都市の過去3年と本年の年齢階級別報告数を見ると、9歳以下の小児と60歳以上の高齢者の割合が高くなっています(図2)。

このため京都市では、「小児用肺炎球菌ワクチン」及び「高齢者用肺炎球菌ワクチン」を定期接種として実施しています。

しかしながら、侵襲性肺炎球菌感染症報告者のうち9歳以下の小児の接種率は非常に高いのに対し、70歳以上の方のワクチン接種履歴を見ると、接種率は20%程度に留まっており(図3)、高齢患者の多くがワクチン未接種または不明となっています。

高齢化社会の中、70歳以上のワクチンの接種率を上げることが、感染を防ぐ、あるいは罹患者数を減らす策のひとつになっていると考えられます。

肺炎球菌ワクチンの詳しい情報については、下記URL(健康安全課ホームページ)を御参照ください。

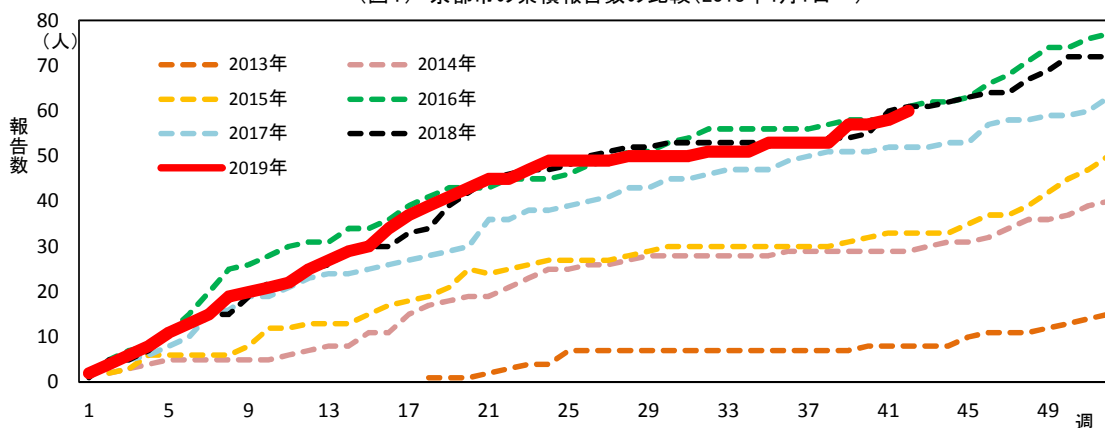
○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

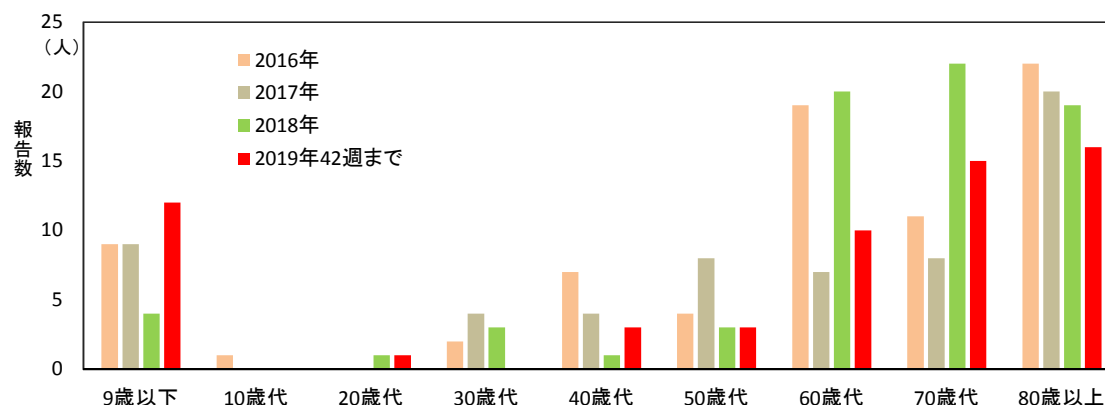
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

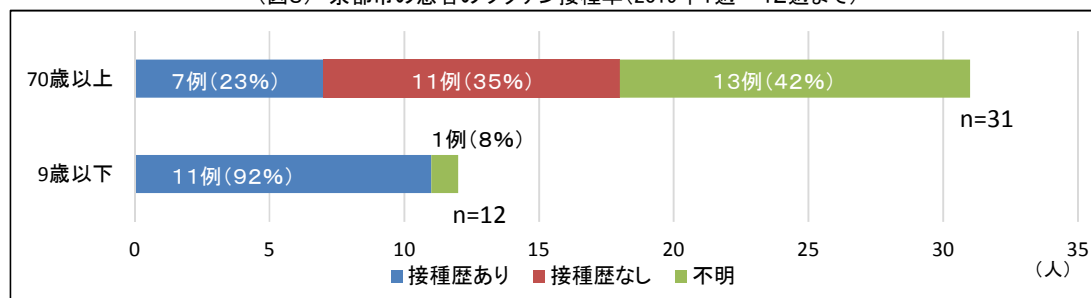
(図1) 京都市の累積報告数の比較(2013年4月1日～)



(図2) 京都市の年齢階級別報告数の推移



(図3) 京都市の患者のワクチン接種率(2019年1週～42週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第42週

疾病,行政区別報告数

2019年10月14日～2019年10月20日

データ入手日:2019年10月23日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-					
左京	2	6	1	10	8	2	1	3	3	2	-	-	-					
中京	3	2	-	1	1	-	2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	5	-	-	8	-	-	1	-	1	-							
山科	9	4	-	2	-	-	5	-	-	-	1	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-							
南	7	-	3	1	4	1	9	6	-	1	-							
右京	-	9	-	22	24	2	2	1	-	-	-	-	-					
伏見	-	8	3	7	46	5	10	6	6	1	-	-	-					
西京	1	4	1	1	7	1	11	1	-	-	-	-	-					
京都市計	23	39	9	44	100	11	40	20	12	5	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.14	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.67	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-					
左京	0.29	1.50	0.25	2.50	2.00	0.50	0.25	0.75	0.75	0.50	-	-	-					
中京	0.60	0.67	-	0.33	0.33	-	0.67	0.33	0.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	2.50	-	-	4.00	-	-	0.50	-	0.50	-							
山科	1.29	0.80	-	0.40	-	-	1.00	-	-	-	0.20	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-							
南	1.40	-	1.00	0.33	1.33	0.33	3.00	2.00	-	0.33	-							
右京	-	1.80	-	4.40	4.80	0.40	0.40	0.20	-	-	-	-	-					
伏見	-	1.14	0.43	1.00	6.57	0.71	1.43	0.86	0.86	0.14	-	-	-					
西京	0.13	0.80	0.20	0.20	1.40	0.20	2.20	0.20	-	-	-	-	-					
京都市計	0.33	0.91	0.21	1.02	2.33	0.26	0.93	0.47	0.28	0.12	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第42週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年10月14日～2019年10月20日

データ入手日:2019年10月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	23	-	1	1	-	2	-	2	1	1	1	2	3	-	3	1	3	-	-	1	1
RSウイルス感染症	年齢3	39	7	9	12	8	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		9	-	1	3	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	-	5	1	2	7	5	4	6	4	3	4	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		100	3	7	20	7	9	4	7	7	7	4	4	14	-	7	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	1	1	1	2	1	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		40	-	2	16	7	7	3	1	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		20	1	-	-	2	2	4	3	1	3	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	6	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		5	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.33	-	0.01	0.01	-	0.03	-	0.03	0.01	0.01	0.01	0.03	0.04	-	0.04	0.01	0.04	-	-	0.01	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.91	0.16	0.21	0.28	0.19	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.21	-	0.02	0.07	0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	-	-	0.12	0.02	0.05	0.16	0.12	0.09	0.14	0.09	0.07	0.09	-	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		2.33	0.07	0.16	0.47	0.16	0.21	0.09	0.16	0.16	0.16	0.09	0.09	0.33	-	0.16	-	-	-	-	-	
水痘		0.26	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.93	-	0.05	0.37	0.16	0.16	0.07	0.02	-	0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.47	0.02	-	-	0.05	0.05	0.09	0.07	0.02	0.07	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.28	-	0.14	0.09	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.12	-	-	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第42週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年10月23日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	50	50	47	32	36	23
RSウイルス感染症	87	91	81	55	55	39
咽頭結膜熱	13	29	17	14	11	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	43	65	57	48	44
感染性胃腸炎	116	116	97	129	119	100
水痘	9	12	21	30	9	11
手足口病	50	43	38	48	32	40
伝染性紅斑	40	31	32	32	20	20
突発性発しん	8	8	8	11	15	12
ヘルパンギーナ	29	23	20	22	21	5
流行性耳下腺炎	2	-	1	5	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	1	1	5	3	1
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	461	447	428	440	371	305

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.72	0.72	0.68	0.46	0.52	0.33
RSウイルス感染症	2.02	2.12	1.88	1.28	1.28	0.91
咽頭結膜熱	0.30	0.67	0.40	0.33	0.26	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	1.00	1.51	1.33	1.12	1.02
感染性胃腸炎	2.70	2.70	2.26	3.00	2.77	2.33
水痘	0.21	0.28	0.49	0.70	0.21	0.26
手足口病	1.16	1.00	0.88	1.12	0.74	0.93
伝染性紅斑	0.93	0.72	0.74	0.74	0.47	0.47
突発性発しん	0.19	0.19	0.19	0.26	0.35	0.28
ヘルパンギーナ	0.67	0.53	0.47	0.51	0.49	0.12
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.02	0.12	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.90	0.10	0.10	0.50	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	10.97	10.03	9.62	10.34	8.54	6.97

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。